

生き物つながり探検隊 秋季編 宝塚自然の家

日時 2021 年 10 月 15 日 (木) 9:30~14:30

場所 宝塚自然の家

目的 生き物の姿から生命の不思議を知る

園内の秋の姿を見て、触って観察し、季節とのつながりを知る

昔の家を見る

対象 末広小学校 3 年生 61 名 12 班

担任 三浦先生 三方先生 ボランティアの酒井さん、中西さん

スタッフ MNC 8 名 山本・高橋 美・小山・石原・沼田・詠田・木村・軸屋

記録・報告 軸屋

コロナ禍で、緊急事態宣言が発令され、MNC のスタッフが参加しての環境体験学習は 2020 年度と 2021 年 9 月まで中止になっていましたが、2021 年 10 月より再開されることになりました。

晴天続きで、熱さも残る毎日、今日も青い空がどこまでも続いています。

バスから降りた子供たちは元気いっぱい、久しぶりの今日の活動を楽しみにしていた様子がうかがえます。

スケジュール

10:00 事務所前 初めのあいさつ 三浦先生

石原さんのお話

今日は秋を見つけるというにはまだ少し早いようだが、小さい秋を見つけてください。

生き物を採集して楽しんだら後は離してあげましょうとありました。



次は、木村さんより昆虫のお話です。

絵が出て音楽がながれ、これは何でしょうというや、すかさず “仮面ライダー！”と叫ぶ子供たち。
バッタの頭部は仮面ライダー！

昆虫に興味津々の様子です。昆虫は生物のなかで、非常に多くの種をもっていること、体の基本の仕組み、変態すること等話された後、捕まえたらよく観察してくださいとのこと。

10:40 クラス毎に集合写真



1組



2組

園内探検に出発

1班から12班の順

事務所前→茅葺の家→野歩き→ハレーロボ→事務所前→多目的広場

11:40 多目的広場で昼食 食後遊び

12:30 バス乗りこみ

12:40 農園へ出発

武庫ネイチャー会員も芋ほりに参加します

園内探検に出発してすぐ、池でメダカが泳いでいるのを観察しました。水場なのでトンボも多く飛び交っています

橋を渡るとドングリがたくさん落ちているのが見られました。殻斗も落ちています。殻斗の中にある小さなどんぐりも見つけ、殻斗とドングリのつながりを知りました。

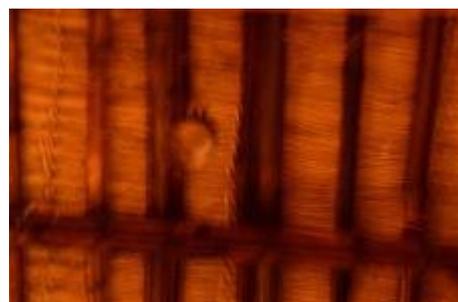
茅葺屋根の家は傷んでいた屋根が修理されて、立派に役目を果たしています。昔の人が暮らしていた家だというと、“本当、ここで？”と信じられない様子。ここは山だからこの家はここにあったのではなく、田んぼや畑のある場所にあったんだよ。

この家は移築と言って一旦、家を解体して又ここに建てたんだよという“へー”とわかった風でしたが、理解できたかな

精米機や機織り機はわかりやすかったようです。外に出て、牛につなげる耕運の仕組みをみんなで考えました。



茅葺きの家



天井にこうもりがいました

茅葺屋根の家の周りやハレーロボの周辺ではアリジゴクがありました。



アリジゴクの穴



蟻地獄（ウスバカゲロウの幼虫）



散策中



園内探検を終えて楽しい昼食の後は生き物探し。



その後、バスに乗り込み農園へ

土は日照りが続いて硬く、掘り上げるのが大変でしたが大きなスコップの助けも借りて、赤くて大きなお芋をたくさん収穫できました。



児童の感想 全体の場では発表できませんでしたので、個別に聞いてみました。

トカゲを捕まえたのがうれしかった カナヘビを捕まえた
チョウを網で捕まえて虫かごに入れることができうれしかった
芋ほりは大変だったけど、面白かった
カエルを取ったり、お芋を掘ったりしたのがとても楽しかった

今年の天候不順のせいか、ナツハゼの実や銀杏もほとんど見られず残念な思いもしていましたが、トンボ、チョウ、バッタ、カエル、トカゲなどの小動物は数多くいました。

多目的広場の遊具がなくなっても、子供たちはトンボやバッタ、チョウ、カエル、トカゲ等を追いかけ、捕まえてよく観察していました。1年半のブランクがあっても余計に自然観察学習の楽しさを実感したのでしょうか。

スタッフにとっても、1年半ぶりの環境体験学習で、子供たちの環境体験学習への強い期待を実感できた1日でした。スタッフの皆様、お疲れ様でした。

